

最新・最適な医療の提供を
目指して

contents

- ・がんゲノム診断はがん治療の道標
- ・地域連携研修会の報告と次回予告

CHECK

山梨県立中央病院 医療連携 だより

がんゲノム診断は がん治療の道標

Cancer genomic diagnosis is a guidepost for cancer treatment



山梨県立中央病院
ゲノム解析センター
検査部・消化器内科

望月 仁

令和5年3月、全国に32あるがんゲノム医療拠点病院の中に各地の大学やがんセンターとともに山梨県立中央病院が厚生労働省から指定されたことが大きな話題となりました。

独立行政法人化と共に2013年に一般病院としては珍しいゲノム解析センターを開設しゲノム診療センター等を併設しながら、患者さんの治療に役立つゲノム研究・診療を実践してきた成果が認められたのもだと考えております。がんゲノム医療拠点病院というのはゲノム(遺伝子)データから治療方針を決めるエキスパートパネル(専門家)会議を主催し患者さん一人一人に最適な治療方法を自施設で決定出来ます。また保険収載ゲノム検査では不明な点もISO(国際標準化機構)及びCAP(米国臨床病理医学協会)認定の当院ゲノム解析センターで明らかに出来るようになってきました。

なぜ、ゲノム検査がこれほど重要なものとされてきているのでしょうか？癌治療は長らくレントゲン、CT/MRI、病理診断などの結果から、この種類の腫瘍はこの薬剤が最適であるという判断で化学療法が実施されてきました。しかし最近のゲノム研究から同じ腫瘍であっても一人一人が異なるゲノム変異により発癌してきていることが見出されました。そのため今ではその癌の原因となるゲノム変異毎に最適な薬剤を選択できるようになってきています。当然同じ癌種でも最適な治療薬はゲノム変異

毎に異なる事となり、究極の個別化医療と言えます。

癌化の根本原因となるゲノムを知ることは、癌を治療するための“道標”となります。現在は勿論、将来新薬が登場した時に間違いの無い道を進んでいけます。

ただ、馴染みが少ないため、新聞・雑誌等で見聞きした患者さんも、患者さんを診療している医療機関においても具体的にどうして良いのか分からないとか費用が分からないので踏み出せないという声もお聞きします。

保険収載がん遺伝子パネル検査はがんゲノム医療の指定を受けている病院でしか実施できませんので、対象となる患者さんを診療されている連携医療機関の先生方は御面倒でも直接当院「当該科外来」に御紹介いただくか「がん相談室」(直通 055-254-7851)に御連絡をお願い致します。

また費用は保険収載検査であり高額医療費制度が利用できますので、その他の医療費と合わせた額のうち収入に応じた金額のみの御負担となります。因みに令和5年の実際の自己負担額は8千円～9.7万円(平均5.3万円)でした。

尚、当院通院加療がんセンターにおいてより良い治療を選択して頂けるよう右記パンフレットとともに「がん遺伝子パネル検査」をお勧めしております。

がん遺伝子(ゲノム)情報は、
現在・将来のがん治療に対する道標です

今まで：CT、レントゲン写真、病理検査等から治療法を決定



今：血液や組織から一人一人に最適な薬剤を見つけ出せる



がん相談室看護師 (直通 055-254-7851)
担当医、通院加療がんセンター看護師に
「がん遺伝子パネル検査をしたいです」とお伝えください

山梨県立中央病院は令和5年度より、
全国に32ある「がんゲノム医療」拠点「病院」になりました。
全ての患者さんが、最善の治療を受けて頂けるよう取り組んでまいります。

(2023.07 ゲノム解析センター 望月)



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

患者支援センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1

TEL.(直通)055-253-9000/FAX.(直通)055-251-7733

最新・最適な 医療の提供を目指して

Aiming to provide the latest and most optimal medical care



婦人科
部長

坂本 育子

現在、山梨で低侵襲手術、婦人科悪性腫瘍を行える施設は限られています。当院婦人科では常に「最新・最適な医療」を提供することを考え、取り組んでいます。今回はその取り組みの紹介と実績をご紹介します。



ロボット支援下手術国内有数の施設へ

ロボット支援下手術は2016年からこれまでに800件以上行っており、全国でもトップレベルの手術症例数となりました。さらにロボット支援下手術を行う資格を取得するための見学施設として認定され、全国から手術見学の医師を受け入れております。



悪性腫瘍

早期の子宮体癌・頸癌手術に対して低侵襲手術を行える施設認定を受けております。2022年から進行した子宮体癌に対して、従来はみぞおちまでの切開が必要な「傍大動脈リンパ節郭清」をロボット手術で行うことも可能となりました。**(図1)** 自費診療となりますが、ご希望の方がいれば是非ご相談ください。**(図1)**

良性腫瘍

現在9割以上が低侵襲手術となっています。大きな子宮筋腫、高度な癒着が想定される疾患などに対しても、腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術を積極的に行っています。さらに2020年4月に子宮脱などの骨盤臓器脱に対するロボット支援下仙骨腔固定術が保険適用となりました。骨盤臓器脱では、陰部の違和感や排尿障害など生活の質を低下させる症状が出ることがありますが、ペッサリーなどの保存的治療に加えて、ロボット支援下仙骨腔固定術による手術療法も当院では可能であり、最適な治療法をご提案させていただきます。

Topics

婦人科の 取り組み 紹介

(図1) 傍大動脈リンパ節郭清
創部の比較

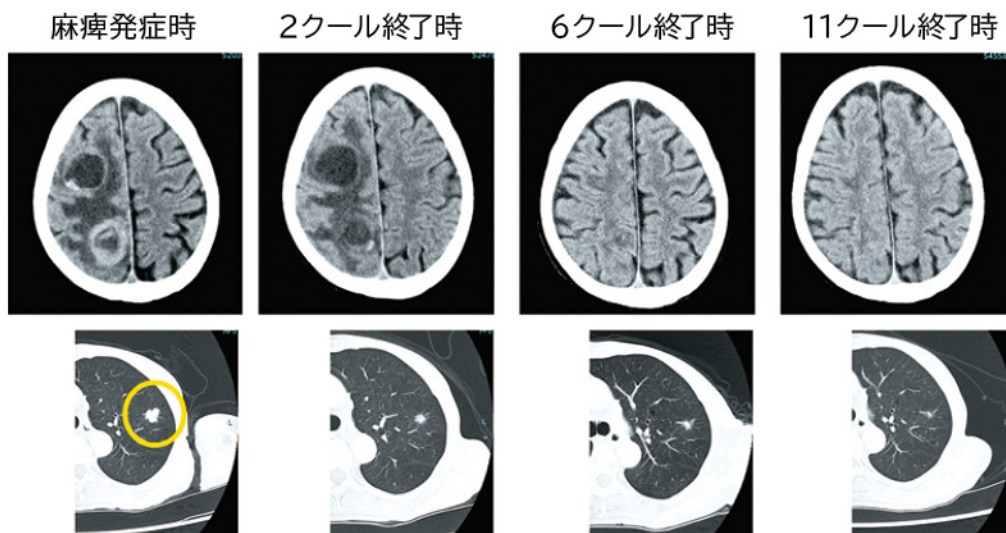


CHECK
2

ゲノム情報に基づいた最適化医療 ～ 免疫チェックポイント阻害剤の適応拡大 ～

2014年からゲノム解析センターと協力し、遺伝性乳癌卵巣癌の研究をおこない、2016年にBRCA1/2陽性再発卵巣癌に対するPARP阻害剤(オラパリブ)の臨床使用を全国に先駆けて開始しました。オラパリブは2018年に保険適用となり、現在では多くの患者さんにPARP阻害剤を含む最新の治療を提供しております。また近年進行、再発子宮体癌、子宮頸癌に免疫チェックポイント阻害剤を含む薬物療法が保険収載されました。子宮体癌や子宮頸癌は効果的な化学療法があまりないため、いち早く導入し実績を重ねております。

(図2) 2022年9月から ペンブロリズマブ+レンバチニブ開始



子宮体癌Ⅳ期で治療後、脳転移、肺転移で再発となった症例です。
免疫チェックポイント阻害剤の併用療法で、従来の抗がん剤治療では得られない奏功を
認めております。

このように常に情報をアップデートしながら、より良い医療を提供できるよう心がけております。
各地域連携病院からのご紹介の労をお取りいただくと幸いに存じます。今後ともよろしくお願
いたします。

地域連携研修会が開催されました

5.25 TUE

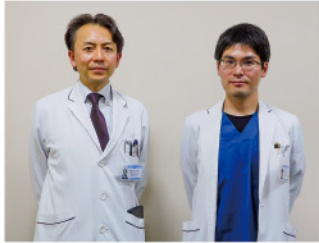
1. 「症例から読み解く 糖尿病治療のコツと画期的最新治療」

山梨県立中央病院 糖尿病内分泌内科 臨床研修センター 部長
滝澤 壮一 医師

2. 「山梨県海外留学研修発表 ～コロナ禍でのカナダ留学を経験して～」

山梨県立中央病院 糖尿病内分泌内科 副部長
祢津 昌広 医師

令和5年5月25日(木)にWebシステムを利用して地域連携研修会を開催しました。第87回は、当院の糖尿病内分泌内科 滝澤壮一医師より「症例から読み解く 糖尿病治療のコツと画期的最新治療」、同科 祢津昌広医師より「山梨県海外留学研修発表～コロナ禍でのカナダ留学を経験して～」について講演し、院内外合わせて64名の方に参加していただきました。アンケートでは、話を興味深く聴けたとのコメントもいただき、有意義な研修会となりました。



6.29 THU

「慢性硬膜下血腫の新治療」

山梨県立中央病院 脳神経外科 部長 金丸 和也 医師

令和5年6月29日(木)、Webシステムを利用して地域連携研修会を開催しました。当院、金丸医師より「慢性硬膜下血腫の新治療」をテーマに講演し、院内26名、院外30施設、合わせて56名の方に参加していただきました。



7.21 FRI

「熱中症 予防と重症度判断！」

山梨県立中央病院 高度救命救急センター 統括部長
岩瀬 史明 医師

令和5年7月21日(金)、Webシステムを利用して地域連携研修会を開催しました。当院、高度救命救急センター統括部長 岩瀬史明医師より「熱中症 予防と重症判断！」について講演し、院内14人、院外70施設、合わせて84名の方に参加していただきました。



8.30 WED

「更年期とうつ」

山梨県立中央病院 女性専門科 内科系第三診療 統括副部長
縄田 昌子 医師

令和5年8月30日(水)、Webシステムを利用して地域連携研修会を開催しました。当院、女性専門科 縄田昌子医師より「更年期とうつ」について講演し、院内11人、院外28施設、合わせて39名の方に参加していただきました。今までにない内容で更年期年齢の方への接し方、傾聴の姿勢などポイントを教えてほしい等の質問もあり大変有意義な研修会となりました。



次回研修会

研修会の情報はホームページでもご案内しています。



<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

◀ ホーム / 医療関係者の方へ / 講演会・研修会 / 研修について / 地域連携研修会

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、かかりつけ医によるFAX予約ができます。 **FAX. 055-253-2903**

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

1

かかりつけの 医院を受診

紹介状をもらってください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎ **055-253-7900**

9:00~17:00 月~金(祝祭日除く)

①紹介状②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に
準備して
ください

3

受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)